

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		D 建設・整備事業	
事務事業名		自転車通行環境整備事業		事業番号	
担当部署名		建設 局 サイクルシティ推進 部		019-091	
				自転車環境整備 課	

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出	
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km				
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	道路法、道路交通法、自転車活用推進法				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民 (約82万人) 及び市外からの利用者 (不特定多数)	対象数	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全に配慮した自転車の通行空間を確保する。通行空間の連続性を確保した自転車ネットワークを形成し、回遊性や快適性を高める。広域的な自転車ネットワークの形成を推進し、自転車による周遊を促し、地域の活性化や賑わいの創出につなげる。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	○自転車通行環境の整備 府道大阪和泉南線、府道堺狭山線、府道堺泉北環状線等で自転車通行環境の整備を行う。  令和3年度：府道大阪和泉南線 (L=1.9km) 府道堺狭山線 (L=1.0km) 令和4年度：府道堺狭山線 (L=0.8km) 府道堺泉北環状線 (L=0.1km)				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	請負業者				
10	公民連携・協働事業	—				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 市民意識調査による満足度	%	目標値	50	50	50	50	
		実績値	—	44			
		達成率	—	88%			
当該指標を選定した理由		整備効果を客観的に評価するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		区別の最高値が堺区の約50%であるため、市内全域において同水準に向上させる。					
12 自転車通行環境整備延長 (累計)	Km		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		目標値	66	67	70		
		実績値	64	67			
	達成率	97%	100%				
当該指標を選定した理由		自転車通行環境整備の各年度における推移や進捗状況を把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		予算化された額と予定路線の想定単価から算出している。					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自転車通行環境整備事業	事業番号	019-091
-------	-------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	176,143	153,866	143,131	105,145	66,987
財源内訳	国支出金	73,920	62,912	59,830	46,630	25,575
	府支出金					
	市債	92,200	80,100	75,400	52,600	36,300
	その他 ( )					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	10,023	10,854	7,901	5,915	5,112
14	人件費 (b)	53,900	61,000	61,000	36,400	36,400
15	年間経費(c)=(a)+(b)	230,043	214,866	204,131	141,545	103,387

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	R4				R3	R4		
16	自転車通行環境整備工事	R3	決算	83,770	3,055	使用料及び賃借料	R3	決算	309	309
		R4	予算	66,100	4,225		R4	予算	130	130
	自転車通行環境整備実施設計	R3	決算	19,483	968	負担金、補助及び交付金	R3	決算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	2	2
	旅費	R3	決算	13	13	委託料	R3	決算	928	928
		R4	予算	121	121		R4	予算		
需用費	R3	決算	641	641		R3	決算			
	R4	予算	628	628		R4	予算			
役務費	R3	決算	1	1		R3	決算			
	R4	予算	6	6		R4	予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		令和2年度	令和3年度
① 自転車通行環境整備延長	m	3,227	3,220
② 上記①にかかる年間経費	千円	214,866	141,545
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	66,584	43,958

備考 (算出についての説明等) 自転車通行環境の整備は、整備する路線の実状に合わせた整備内容となるため、整備する路線毎に変動する傾向がある。

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>単位当たり経費は整備内容により増減するが、路線毎に適切な整備内容により自転車通行環境を整備することで、利用者にとって安全・快適な通行環境を確保する。</p>
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>計画的に自転車の通行環境を整備することにより、利用者にとって安全・快適な通行環境を実感してもらえる機会が増加することから、自転車利用環境の満足度の向上につながり、基本計画のKPI達成に向けて寄与している。</p>
----	---